

## 【22\_216思考系メルマガ】トレードの『技術』が身に付くまでの時間

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

現在僕は、自分自身のトレードの研鑽も兼ねつつ、アウトプットの機会として

不定期に実施している講座とは別に、通年メンバーを受け入れている

トレード技術を身につけ、高い意識を共有し合う仲間を増やすオンラインサロンを主催しています。

▼omukuroファーム▼

<https://lounge.dmm.com/detail/2481/index/>

そのような場の中や、時折メールでも質問を貰うのですが

「トレード技術を身につけるには、大体どれくらいの時間がかかるものでしょうか？」と質問されることが多く、今回はそれについてお答えしたいと思います。

□

■ トレードを『安定した収益源としての仕事』と捉えた場合・・・

まず、身近な 仕事 を例に考えてみましょう。

サラリーマン、飲食店経営、はたまた職人など。。。

仕事の種類は本当に多種多様ですが、どんな仕事であっても

サービスを提供する対価を貰う以上は プロ としての仕事が求められるわけですから

その技術習得には膨大な時間・手間・コストがかかるものです。

トレードも例に漏れず、相場からお金を得る「金融業」ですから、仕事として捉えるなら猶更

『仕事』としての意識を持って取り組むことが必要であると考えます。

となると、その技術の習得という観点でいけば、本当に時間をかけて取り組まなくてはなりません。

僕自身、トレードの技術を身につけるにあたって、自分に言い聞かせている意識というのも先日ツイートした所、多くの方から反響を貰いました。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1552241651103539201?s=20&t=jRIbaJJ0XBlv6LpFyN4FUg>

よく頂く質問ですが

「〇年以上(人に依りますが、2年以上が多かった)取り組んでいるが、未だに安定して勝てていません」

と言われる方の学習履歴を聞いてみると、色んな過程がありました。

中には、言っては悪いですが詐欺じみた商材を買ってマジメに取り組んだ結果

ただただリスクの高い、悪いトレード癖がついてしまい、時間をかけて矯正している方もいたり

2カ月～半年くらいの頻度で手法を転々としている人もいました(こちらは結構多い)

僕は、これまでの自分の経験則からも

ちゃんとした考え方に沿った手法であろうと、それをしっかり身につけるためには

検証母数を集め、フォワードテストの結果を確認するまでの過程で1～2年はかかるものと考えています。

なので、ファームに参加される方にも、その点は早い段階でお伝えするように心がけています。

それでも、毎月5～10人程新規で参加頂く中で、残念ながら1, 2カ月もたずに退会される方も1, 2人くらいいます。

仕事を覚えるのには、非常に膨大な時間と手間を要する事が理解できるはずなのに

何故かトレードでは、それを早く身につけたいと焦る人が多い。。。

それは恐らく、過去の過ちで失った資金や、商材に支払ったお金を一刻も早くトレードで取り戻したいという焦りがあるのかもしれませんが。

ですが、まともな手法を『技術』として定着させるためには、残念ながら近道は存在しません。

インプットだけでは、分かった気になれるだけで実践で使える状態にはならないですから

そこからチャート上でイメージ通りの値動きを見つける力を付けるために

過去チャートから検証母数を何百(僕のように不器用な人なら1000枚単位)と集める必要があるし

そこから仮組みしたルールが機能するかを、デモトレードなどで2~3カ月掛けてテストする。

ここまでやって初めて『技術』として定着するものです。

ですが、これを正直に行ってしまうと、引いてしまうからと

多くの情報発信者はこの事実を隠して、自分の手法を売り込むわけです。

テクニク的な情報は、何も有料の商材や講座に頼らなくても検索ひとつで簡単に入手できます。

時間がたっぷりある人は、それを資本として無駄にお金を掛けずにじっくりと取り組めば良いのです。焦る必要はまったくない。

ただ、少しでも「無意味な遠回りをしないよう、『考え方』を身につけて学習したい」という人は

その部分を包み隠さず、丁寧に指導してくれる人を探して学びましょう。

それでも時間がかかることには変わりはないのですが、よい人に巡り合えれば

きっとトレードだけでなく、その後の生き方にもプラスになることが増えるかもしれません。

僕自身、こうしてメルマガを書きながら自分の考えをアウトプットしていますが

きっと何年後かに読み返してみれば

未熟だった自分を見ることになるのだろうなと思います(笑)

せめて、「あの時はまだまだ青かったなあ」と言えるように

少しでも上達していたいものですね。お互い頑張りましょう。